

前輪自在ダブルタイヤ

Z070 Z071 組立図

①



① 本体フレームのエンドキャップをはずします(2001年以前のタイプはネジはついていません)

キャップが外れにくい場合は②の様に棒で押して下さい

②

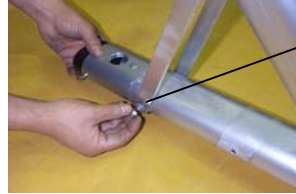


③



ジョイントセットを先端部に差し込みます

④



ステアのボルト

ステアのボルトを外して挿入し固定します

⑦



最後に取り付けをボルト&ナットで取り付け完了です

⑤ ワッシャー 止めボルト



⑥



フロントユニットの止めボルトの上にワッシャー、を入れ先端部に差し込みます

※写真はタイヤが組み込まれていますがタイヤは別に入っていますので組み込んでください

※写真のタイヤはZ071(Dタイヤ)ですがZ070(Aタイヤ)も同じです

※ボルト、ナット、Dリングは出荷時フロントユニットに組み込まれています

品番	品名	数	税別単価
Z075	Z070用取っ手フレームアルミ	1	¥6,000 + 税
Z072	Z070用SUST型フレームセットボルト、W、Dリング付	1	¥12,000 + 税
Z077	Z070用ジョイントセット	1	¥4,000 + 税
Z6038	Z6038エンドキャップ50×70	1	¥1,000 + 税
P-TP5-15	SUSプラスナベタッピングビスA5-15	1	¥20 + 税
P06-45	Fタイヤ用ワッシャーM26W φ45×φ26×2t	1	¥240 + 税
P04-8-50	SUS六角ボルトM8-50	1	¥63 + 税
P15-08	SUSナイロンナットM8	1	¥100 + 税
P01-6-35	SUSプラスナベM6-35	1	¥34 + 税
P15-06	SUSナイロンナットM6(1種)	1	¥62 + 税
Z521	Z521Dリング	4	¥220 + 税

ご使用上の注意

- 組立て後、各部のネジの緩みを点検しご使用前にも毎回点検して下さい。
- ご使用後は良く真水で洗い、砂を取り除き乾燥させて下さい。
- タイヤ空気圧は0.8Kg以下でご使用下さい。
- タイヤ車軸部にオイル、グリス等はつけないで下さい。砂がついてしまいます。
- 動力での牽引はおやめ下さい。

(有)ファクトリーゼロ

TEL046-238-9411

タイヤご使用上の注意

このたびは当社製品のお買い上げまことにありがとうございます。
当社エアータイヤにつきまして下記のことにご注意してご使用下さい。

TA30F / TA30G / TA30J (F タイヤ、G タイヤ、J タイヤ) (ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8KG～1.0KG 位にてお願い致します。特に夏場は直射日光にて内圧が高まります必ず 0.8KG 以下でご使用下さい。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください。
- 車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい。
- 車内等に入れる場合走行中や停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が下がりますとタイヤの内圧が下がりチューブレスタイヤの為空気が抜けてしまう場合が有りますので船を載せて保管される場合は時々チェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置しますとタイヤがビビ割れし空気再注入不可能となってしまいます、長期保管の場合は台車の下にかいもの等を入れておくとい良いでしょう。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生いたしますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。

TA30A (A タイヤ) (アルミランチャー、トランサムドリー等に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8KG～1.0KG 位にてお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります、又冬場は逆に低温にて空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください。
- 車内等に入れる場合走行中や停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化が早まりますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。
- 交換用タイヤ(外側) チューブ、別途販売しています、適宜交換下さい。

TA30D (D タイヤ) (マルチドリー、Z071 前輪、等に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0KG～1.5KG 位にてお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります、又冬場は逆に低温にて空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください。
- 車内等に入れる場合走行中や停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化が早まりますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。

上記全てのタイヤについて

- 車軸部にベアリングが内蔵してあります、ベアリング部にはグリス等塗布しないようにして下さい、砂、埃、が付着し磨耗の原因となります、ベアリング分は良く水洗してください。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品ございますので、補修をしてください。
- 空気を入れる場合がソリスタンド等においてある自動車、バイク用、空気入れで入れられます一般用自転車用空気入れではバルブ形状が合いません。

安全なマリライフをお楽しみ下さい

(有)ファクトリーゼロ